【議長賞】給食の時に味わうこと

作野小学校　早坂　莉結

私は六年生のはじめの頃は、あまりクラスに慣れていませんでした。

だから給食の時間になっても全然楽しくなかったし、自分だけすぐに食べ終わってしまうことがほぼ毎日続きました。しかも、ただお腹を満たしているだけで、味わって食べられていないなとも思っていました。そこで、ゆっくり食べるにはどうしたらいいのか、給食の時間に考えながら食べてみました。考えながら食べると、いつもより食べるのが遅くなることが分かりました。しかし、ゆっくり食べられたけれど、味わって給食を食べることがまだできませんでした。次はどうすれば味わって楽しく食べられるのか考えました。そこで私はまず、友達と会話を楽しみながら食べている人は、食べ終わるのが早すぎないのではないかと考えました。会話を楽しみながら食べる人と、そうでない人を比べてみました。比べてみると、会話をせずに食べている人の方が圧倒的に早く食べ終わっていることが分かりました。なので、私もゆっくり食べられるように、友達としゃべってみることにしました。でも私は、給食の時にみんながしゃべっている輪に入る勇気が出なかったので、私の席の近くでだまって食べている子に話しかけてみました。すると、意外にもその子と楽しくお話ができて、いつもより楽しく食べられました。時間も早すぎることなく、ゆっくり食べ終えることができました。その子と「この給食、おいしいね。」などと会話をすることで、考え事をしながら食べるのとは違って、味わって食べることができました。

でもしばらくすると席替えがあり、自分の周りがあまりしゃべったことのない人ばかりになってしまいました。しばらくすると、近くの子がとても面白い子だということに気づきました。

ある日の給食の時間、その子と前世と来世の話をしました。すると周りのみんなが自分や友達の前世と来世の動物を予想し始めました。みんなで登場した動物の物語を作っていたら、あまりに面白くてみんなと一緒に大笑いしてしまいました。その日は今までで一番笑えた給食の時間でした。いつもの給食と比べても、とてもおいしく食べられたし、楽しくみんなで食べられたことが何より最高でした。

それから次の日も、またその次の日も、来世の物語の続きで盛り上がりました。登場する動物もどんどん増えていって、どんどん話が広がっていきました。こんな日の給食は特別においしく感じられました。味わって食べることができた給食でした。

この経験から、給食を食べる時には友達といろんな話をしながらゆっくりと食べ、おいしく味わうとよいことが分かりました。でも友達としゃべること以外にも楽しく味わって食べる方法があるのかなとも思います。もしもそんな方法が見つからなくても、友達と楽しくおしゃべりしながら食べるとよいことが分かったので、友達がしゃべっている輪に入れるように、勇気を出していきたいです。